

所 属：日本学生航空連盟所属

型 式：アレキサンダー・シュライハー式ASK23B型（滑空機・単座）

登録番号：JA2426

発生場所：福井空港

発生日時：平成8年10月6日 09時41分ごろ

## 1 航空事故調査の経過

### 1.1 航空事故の概要

JA2426（滑空機・単座）は、平成8年10月6日09時41分ごろ、操縦練習のため、練習生が搭乗し、福井空港を飛行機曳航により離陸滑走中、滑走路から逸脱して機体を破損。

搭乗者の死傷 死傷なし

航空機の損壊 中破

### 1.2 航空事故調査の概要

主管調査官が、平成8年10月7日、現場調査を実施した。

原因関係者から意見聴取を行った。

## 2 認定した事実

### 2.1 乗組員に関する情報

練習生 男性 22歳

航空機操縦練習許可書（滑空機）

関第8号

平成8年7月1日

有効期限

平成9年6月30日

総飛行時間（発航回数）

24時間49分（141回）

最近30日間の飛行時間

51分（1回）

同型式機飛行時間

36分（4回）

最近30日間の飛行時間

0分（0回）

操縦教員 男性 38歳

自家用操縦士技能証明書（滑空機）

第9243号

昭和55年10月22日

限定事項 上級滑空機

昭和55年10月22日

操縦教育証明	第591号
	昭和56年10月12日
第2種航空身体検査証明書	第27810183号
有効期限	平成9年1月6日
総飛行時間(発航回数)	260時間34分(1,907回)

## 2.2 航空機に関する情報

### 2.2.1 滑空機

型 式	アレキサンダー・シュライハー式ASK23B型
製造番号	23108
製造年月日	昭和63年11月29日
耐空証明	第95-35-6号
有効期限	平成9年6月1日
総飛行時間	181時間56分
定期点検(耐空検査、平成8年6月2日実施)後の飛行時間	15時間04分

### 2.2.2 機体調査

- (1) 胴体の垂直尾翼取付部が折損。
- (2) 前輪のメイン・アクスル取付部及びマウント・バルク・ヘッドに損傷。
- (3) 機体に事故と関連する不具合は、認められなかった。

## 2.3 気象に関する情報

福井空港の事故関連時間帯の航空気象観測値は、次のとおりであった。

09時00分	風向/風速 180°/11kt、視程 20km 雲 1/8積雲(CU)3,000ft 7/8不明、 気温/露点温度 20°C/15°C、QNH 30.02 inHg
09時41分	風向/風速 190°/10kt、視程 20km、 雲 1/8積雲(CU)3,000ft 6/8不明、 気温/露点温度 23°C/15°C、QNH 29.99 inHg
10時00分	風向/風速 180°/11kt、視程 20km、 雲 1/8積雲(CU)3,000ft 6/8不明、 気温/露点温度 23°C/15°C、QNH 30.01 inHg

### 3 事実を認定した理由

同機は、当日、練習生及び操縦教員が飛行前点検を行い、異常は認められなかった。当日の1回目の飛行として、09時40分ごろ、操縦教員の見守る中、練習生が搭乗し、飛行機（パイパー式PA-18-150型 JA4087）曳航により、滑走路18から離陸滑走を開始した。

その際、翼端補助員は、同機の主翼端を保持しながら伴走した。

その後、同機が左へ偏向し始めたため、練習生は、修正操作を行ったところ、今度は右へ偏向しつつ一旦浮揚したが、滑走路上で数回バウンドした。

その後、滑走路18末端から約270m付近で滑走路を逸脱し、滑走路右側のショルダー部分（草地）に尾部から接地、垂直尾翼取付部で胴体が折損した。

練習生は、曳航索を離脱した。

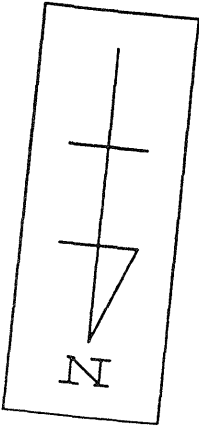
その後、同機は、滑走路を左に横切り、滑走路18末端から約360m、滑走路中心線から約30mの滑走路左側の着陸帯の草地に、機首を約130°の方位に向け停止した。

なお、曳航機の機長は、バックミラーで滑空機の離脱を確認のうえ、離陸した。

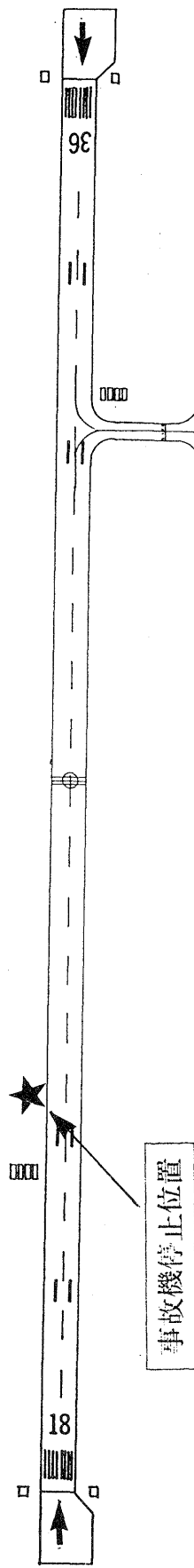
### 4 原因

本事故は、飛行機曳航により離陸滑走を行った際、練習生の操縦操作が適切でなく、滑走路から逸脱し、機体を損傷したものと推定。

付図 1 福井空港見取図

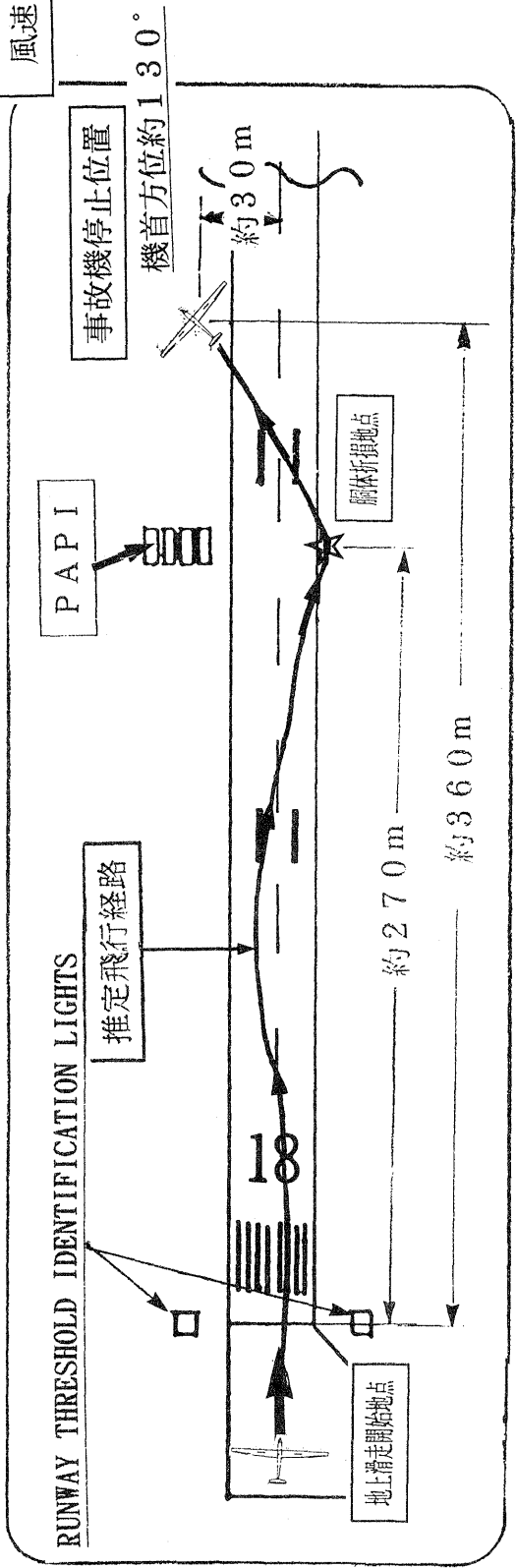


福井空港滑走路  
長さ 1,200m、幅 30m

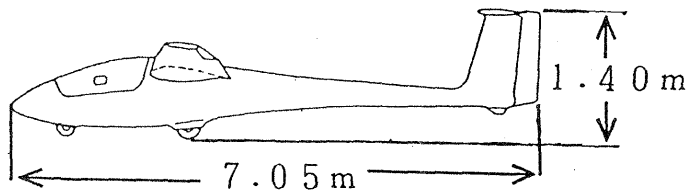
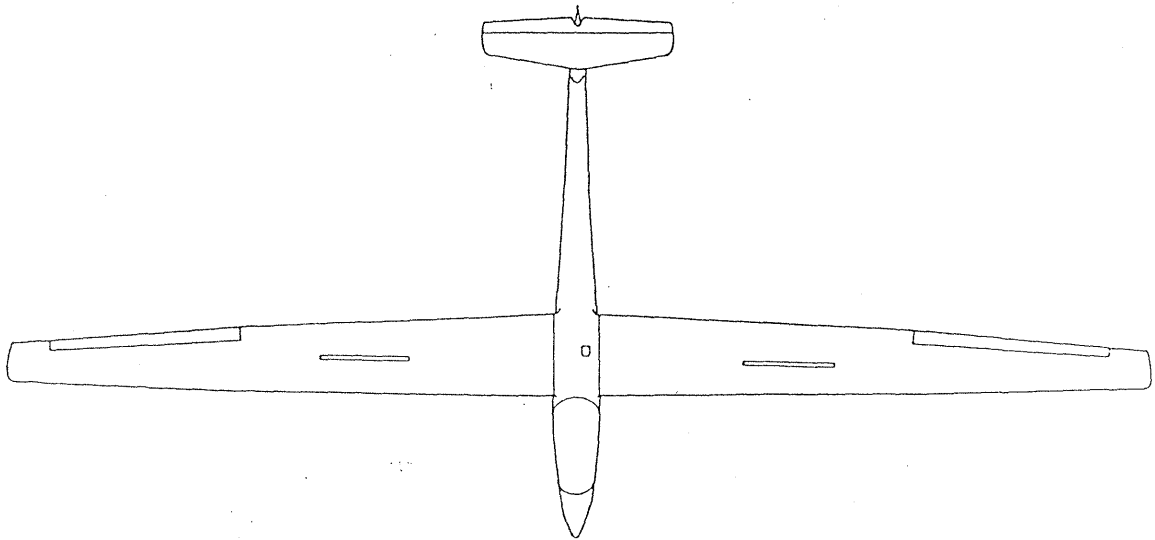
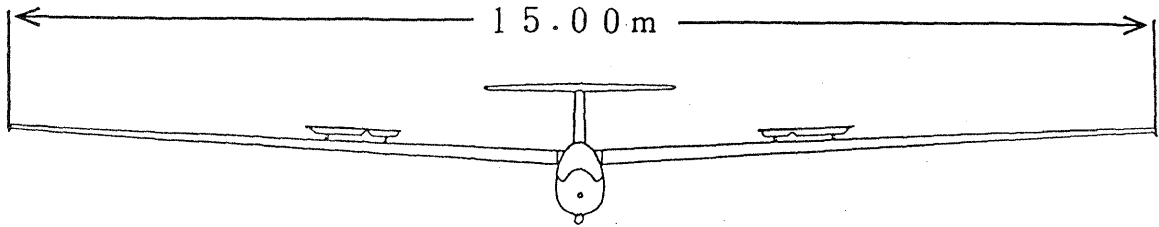


推定飛行経路拡大図

風向: 190°  
風速: 10kt



付図2 アレキサンダー・シュライハー式  
ASK23B型 三面図



機 故 事 真 寫

